

ニツ井小学校5年生が、『食と農』に理解を深める みんなで作ったお米で、巻き寿司作りに挑戦



▲巻き寿司を手に、女性部員と一緒に記念撮影

食農教育活動の一環として、11月20日にニツ井小学校5年生64名を対象に、J A女性部ニツ井支部が巻き寿司作り体験を実施しました。使用したお米は、J A青年部ニツ井支部の協力のもと、児童たちが田植えから稲刈りまでを行い収穫したもので、『食と農』を実感できる取り組みとなっています。女性部員が作り方の手本を見せ、さっそく巻き寿司作りに挑戦。うまく巻けて切り分けられると歓声が上がリ、終始楽しいイベントとなりました。児童は「春植えた小さな苗が、こんなに美味しくなっていて感動です!」と喜んでいました。



特産品のねぎと、きりたんぼ鍋が好評を博す 大都市名古屋で、白神産作物を広くPR



▲白神産作物を求め、多くの購入者が訪れた

市場の機能や役割のPRを目的に、11月10日に名古屋市中央卸売市場において、『2013ふれあい市場まつり』が開催されました。今年で開催4年目を迎え、当日は2万5千人が来場しました。当J Aでは開催当初から参加し、白神産作物をアピールしてきました。今年には土ねぎときりたんぼ鍋の販売を行ったほか、ブース前でJ A職員が『なまはげ』に扮し、来場者を楽しませていました。販売したきりたんぼ鍋は約900食が完売し、太く身が締まった土ねぎを買い求める消費者で、会場は大いに賑わいました。



きみまち杉ちよくんで、収穫感謝祭を開催 日頃のご利用に、感謝を込めて



▲白神ねぎを使った、サラダとスープの料理が紹介された。

農産物直売所きみまち杉ちよくんで11月23日と24日の両日、日頃のご利用に感謝をこめて、恒例の収穫感謝祭が開催されました。23日には、来店者も参加した新米の餅つきが行われ、つくたての餅が無料提供されました。24日には、特産品である白神ねぎを使用した料理講習会が開かれ、簡単レシピを来店者が興味深そうに見入っていました。また、旬野菜の特売やフリーマーケットの開催、汁餅やだまご鍋の販売のほか、特設コーナーにおいて会員自慢の漬物試食販売も行われ、年に一度の収穫感謝祭を盛り上げました。

